

第4回政治思想学会研究会プログラム

期 日：1997年5月24日—25日

場 所：国際基督教大学

第一部 政治的なるものの再検討

第一セッション 政治的なるものの諸相

斎藤純一 現れと聴取の政治—Political Attentionの問題をめぐって

杉田孝夫 政治的なるものとジェンダー

杉田敦 寛容と差異—政治的アイデンティティーをめぐる—考察

司会 前田康博

第二セッション 政治的なるものと主体

岡本仁宏 自由主義・ボランティア・公共性—市民社会の政治的主体について

梅森直之 「表象」(レプレゼンテーション)としての「社会」と「自我」

—大杉栄における「イデオロギー」と「実践」

司会 中谷猛

第三セッション 歴史における政治的なるもの

亀島庸一 二十世紀における政治的基礎概念の変容をめぐって

緒方康 前衛と知—近現代中国における政治的なるもの

山田央子 「シヴィル」と「ポリティカル」の境界—明治日本における「自由」観再考

司会 鷲見誠一

第二部 政治思想史研究の回顧と展望

報告

石田雄・福田歆一

討論

小野紀明・米原謙

司会 加藤節

なお、第一日目の午前に、M・サンデル氏の公開講演があります。

日時：5月24日(土)午前10:00～午前11:30

場所：国際基督教大学・本部棟206

タイトル：Reflections on *Democracy's Discontent*

司会：飯田文雄

コメンテーター：佐々木毅・千葉眞